

# ふくしま田園中枢都市圏スタート！ 近隣8市町村とタッグを組みます。

令和4年3月からスタートした、本市と近隣の8市町村が手をかり合い構成する「ふくしま田園中枢都市圏」について紹介します。

問／政策調整課 ☎525-3788

## ふくしま田園中枢都市圏はこんな未来を目指します ポストコロナ時代に多様なライフスタイルを実現できる南東北の要 ふくしま田園中枢都市圏

本圏域は、都市としての高い生活機能と利便性、豊かな自然と農村が織りなす田園を併せ持つ地域であり、南東北の要としてさらに発展を目指す必要があります。

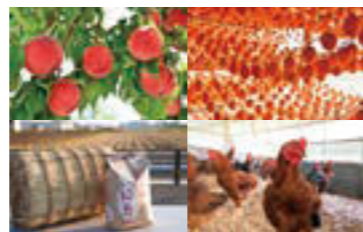
また、復興は道半ばであり、県都を有する圏域として本県の復興創生をリードしなければなりません。

今後、それぞれの強み、特長などを生かして、圏域内の人には「暮らしやすい、住み続けたい」と思ってもらうとともに、圏域外の人には「住んでみたい」と思われるような魅力ある都市圏を目指します。

### 3つの方向性と関連する取り組み

#### 01 圏域全体の経済成長と復興創生のけん引

- 福島イノベーション・コースト構想との連携
- 圏域産の果物や野菜、花きなどを活用した商品開発の支援
- 圏域の豊富な観光資源を活用した滞在、周遊型観光の推進
- 中小企業や新規創業者の支援
- 圏域内インターチェンジ周辺などの土地利用の推進



▲圏域の特産品

#### 02 圏域全体へ経済効果などを波及させる高次の都市機能の集積・強化

- 市街地再開発事業の促進と交流・集客拠点施設整備事業の推進および広域的活用検討
- 圏域内大型商業施設と連携した地域活性化策の検討
- 圏域北部の道路ネットワーク整備促進



▲再開発事業が始まるJR福島駅東口周辺

#### 03 暮らしやすい住みたくなる魅力あふれる圏域づくり

- 救急医療体制の確保
- 保育所などの円滑な広域入所
- 有害鳥獣対策の強化
- 地域公共交通の確保と利用促進
- 災害対策の広域連携の推進
- 出会いの場の創出
- 移住定住の促進
- 若者の就職支援
- 公共施設の相互利用の検討



## ふくしま田園中枢都市圏ビジョンの取り組みはこのように進めていきます!!

ふくしま田園中枢都市圏ビジョンに基づいた20の連携施策とそれに紐づく34の具体的な取り組みを各市町村とともに進めていきます。

ビジョンは学識経験者や有識者などからのご意見も伺いながら、毎年見直しを行い、より良い内容に改定していきます。



※冊子版は各支所・学習センターでもご覧いただけます。

◀「ふくしま田園中枢都市圏ビジョン」はこちらから



福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯館村の9市町村を圏域とする、新たな自治体間の連携の仕組みです。

ふくしま田園中枢都市圏って？

それぞれの市町村が持つ強みや特長を有効活用することにより、圏域全体の活性化、ひいては人口流出の抑止につながります。また、国の財源を活用し、今まで取り組みなかつたような新たな事業の展開が可能となります。



どうして連携するの？



▲4月27日開業 道の駅ふくしま



▲いいいたてスポーツ公園

圏域内のスポーツ施設や文化施設などの公共施設の相互利用や「公共施設予約システム」の共同利用ができるようになる予定です。また、圏域内の道の駅などをめぐるスタンプライヤ、独身の方を対象とした出会いの場を創出するイベントなどを、市町村をまたいで開催します。

暮らしにどんな影響があるの？



▲圏域が目指す未来像を掲げる首長と関係者

3月30日に、本市と8市町村が「ふくしま田園中枢都市圏」形成の連携協約を締結し、圏域が目指す将来像や連携して取り組む施策を盛り込んだ「ふくしま田園中枢都市圏ビジョン」を策定・公表しました。